

～近江町で働く人たちが綴る、おみちよのホンネマガジン～

お! のある暮らし

2016秋 03



よお来たね。
おみちよで
美味しい秋
見つけまっし

TAKE
FREE



秋はおみちよでこうして楽しむ



茶木久乃さん



沖津雅子さん

ここでは、近江町市場で働く人にファッションモデルとさせていただき、秋のおすすめのコーディネートを紹介しております。

一人目は、沖津食品に勤務されている沖津雅子さん。海産物・珍味を売って四十年、太陽のような明るさとはなしやうい気さくな人柄で地元のお客さんに親しまれています。

トップスは今流行りのロングトッパーベスト。インナーは花柄の七分袖チニックTシャツ。ボトムス、シューズは本人私物。紺と白のW花柄を上手に着こなした秋の大人の女性を演出。また本人私物の赤色のネックレスがトップスを見事に引き立てています。

二人目は、近江町市場振興組合に勤務されている茶木久乃さん。持ち前の明るさと可愛らしいキャラクターで市場内外の多くの方に愛されています。

トップスは、ロングブラウス。インナーは黒の七分袖Tシャツ。ボトムスは今大人気のアイテム、ストライプ（縦縞）柄のガウチョパンツ。シューズは本人私物のベージュのサンダル。注目は、今年の秋の流行色であるカーキ色のロングブラウス。スタイリッシュでカッコイイ秋の女性を演出しています。

読者の皆様方、是非今年の秋コーデの参考にしてみてはいかがでしょうか？

秋物おすすめワンポイント

Q:今年の秋のトレンドカラーは？

A:ズバリ、カーキとテラコッタです。

・カーキは、白、紺、スモークピンク等と組み合わせると良く合います。
・テラコッタは、オレンジがかったブラウンカラー（レンガ色）です。ボトムスは、相性のいい黒やベージュを選ぶと良いでしょう。

Q:オススメのアイテムは？

A:ガウチョパンツです。

ガウチョパンツとは、七分丈の幅広いパンツ（ズボン）の事で、ゆったりとして履きやすく、かつ動きやすいのが特徴です

Q:オススメの組み合わせは？

A:フレアーTブラウス（テラコッタ色）にガウチョパンツ（おとなしめの雰囲気）か、サルエルパンツ（派手めの雰囲気）をセットアップがおすすめ！



近江町で働く仲間やその関係者で構成されている部活で、部活といっても学生が目標に向かってまじめに取り組むような活動ではなく、練習するよりも決起大会や作戦会議、新年会や忘年会、そして反省会と称した飲み会が主な活動です。

そんな近江町陸上部ですが中には走りや追求するガチンコランナーから応援だけといった様々な部員が在籍していてそれぞれ各自のペースでみな部員が楽しくやっています。

10月23日に開催される第2回金沢マラソンには、この中から10名の精鋭が参加します！ターコイズブルーのチームTシャツ、お！を着たメンバーを見かけましたら、是非とも応援してやってください。

ランナーにとつては水分も栄養も大切ですが治道からの声援が一番のエネルギーです。近江町市場同様、近江町陸上部もよろしくお祈りしますお！

Autumn Sports

おみちよからのお知らせ



近江町いちば館1階エスカレーター横（ダイヤモンドL2店裏）にセブン銀行のATMが設置されました。みなさまご活用下さいませ。営業時間：7:00～23:00（近江町いちば館開館時毎日営業）

2016.11.6(日) カニ解禁 初売りは11.7(月) おまたせ!

11.7(月)・11.12(土) カニまつり開催

お祭り 大行燈まつり ◆平成28年10月13日(木)～18日(火)

13(日) 12:00- 生本マグロ解体販売!!	17(月) 11:00- ぜんざい50円
14(月) 12:00- メロン500円	18(火) 12:00- サニロインステーキ 2,000円
15(火) 12:00- マツタケご飯 200円	お楽しみ抽選会
16(水) 11:00- むさし秋の収穫祭!	★特賞 10,000円

近江町市場商店街 TEL 076-231-1462

石川が誇るブランドリンゴ 林檎

「秋星」

平成17年に品種登録、郷土が産んだ文豪「徳田秋声」にちなんで、「秋星」と名付けられました。

10月上旬から約1ヶ月ほど市場に出回ります。スラッと美しい形、そして濃い紅色。シャキッととした食感で、濃厚な甘みと酸味のバランスが非常に良いのが特徴。

「1日1個のリンゴは医者を選ばせる」ということわざがあります。

リンゴには生活習慣病や高血圧予防、美容、整腸作用などにも効果があると言われています。そしてリンゴの皮には「エピカテキン」が含まれており、血管を若返らせてくれる素晴らしい栄養成分が有ります。健康な体づくりの強い味方になりそう!

Autumn Harvest



後方に見えるのは、昨年取り壊された「日本郵政グループ金沢ビル」です。左隅には「金沢美術倶楽部」の植木が写っています。右側の「大野商店」の2階部分は、現在もそのまま変わってはいません。その昔、「大野商店」の前には「魚市場」の標柱が立っていたそうです。この辺りから、上近江町通りは魚の間屋街になります。車が何台も停車し、さらにもう1台は進入しようとしています。



逆方向に、上近江町通りの魚問屋街を写しています。たくさんの車と多くの従業員の姿が見える、早朝の慌ただしい近江町市場です。奥に小さくアーケードの入口が見えます。アーケードは、現在では上近江町通りの「近江町市場冷蔵庫(協)」まで伸張されています。



「原屋」「松本鮮魚」は「八與」の向かい側にありました。現在、この一角は「宏昌果実」「久安青果」そして「大松水産」に変わっています。「原屋」は水産仲卸会社として、中央卸売市場に移りました。その後、「松本鮮魚」は「大長」と合併して「大松水産」となります。



「池内商店」は当時、エムザ口から入って左側2軒目にありました。清隆さんは、大学を卒業されて一旦銀行に就職したのですが、父安清さんの命で安清さんが経営する「池内商店」に入り、経理部門を担当することになりました。



「八與」は、鮮魚通りと中通りが交差する四つ角、現在の「忠村水産」小売りの場所に位置していました。「八與」は水産仲卸会社として中央卸売市場に移りました。



「田丸商店」「木戸商店」は、鮮魚通りからエムザ口に出ようとする右側にありました。「当時この辺りには、小売りの魚屋が何軒も並んでいました。ウチの店もこの並びにありました。田丸さんは、私の結婚式の仲人を務めてくれました(笑)」(清隆さん)



「安宅商店」は水産仲卸会社として、中央卸売市場に移りました。現在の「清商店」の場所にありました。市場の賑わいが伝わってきます。頭上に見えるアーケードは、昭和31年から設置されました。



「魚問屋 大長」は、現在「大松水産 鮮魚部」となっています。

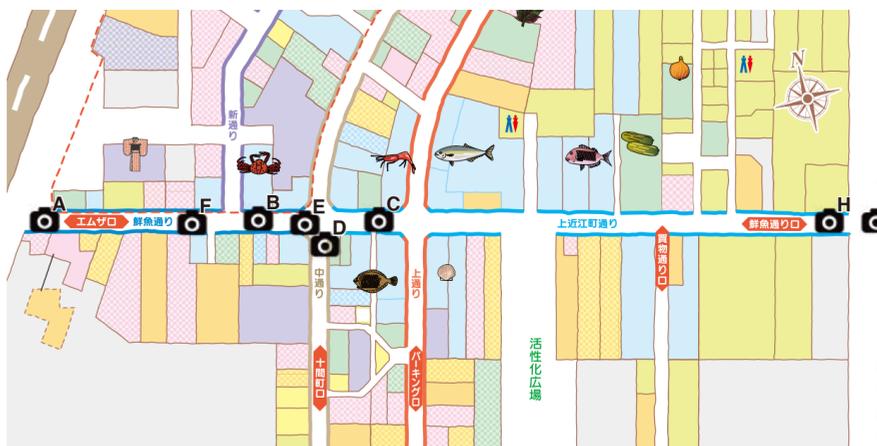
今のめいてつ・エムザの周辺にもうひとつ市場があったこと、ご存じですか？



住吉神社は、現在「めいてつ・エムザ」3階の野外広場に移設されています。野菜や果物の商品が、ところ狭しと置かれています。「子供の頃は、学校から帰ると近所の仲間達と一緒に、ガランとした市場で三角ベースの野球をして遊んだものです」(清隆さん)

住吉市場の風景は、池内さんの自宅兼店舗2階から撮影されています。「昭和30年代から40年代になると、八百屋さんや魚屋さんが、スーパーマーケットに転換していく時代になりました」(清隆さん)

撮影スポット Shootmap



昔の近江町市場や周辺の写真を探しております。もし、お持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひ一度事務局までご連絡くださいませ。

時代の近江町市場を振り返っていただきました。

写真を撮影したのは、池内清隆さん(78)の兄良輔さんですが、今回はこれらの写真をもとにして「近江町市場 今昔」と題し、50年後の現在の市場とを対比して、清隆さんに懐かしい昭和の時代の近江町市場を振り返っていただきました。

昭和41年7月には、中央卸売市場に水産仲卸会社として入場するのですが、もしかすると移り変わる近江町市場と、姿を消す住吉市場を記録に残しておきたい被写体という思いから「シャッター」を押し続けたものかもしれません。

写真を撮影したのは、池内清隆さん(78)の兄良輔さんですが、今回はこれらの写真をもとにして「近江町市場 今昔」と題し、50年後の現在の市場とを対比して、清隆さんに懐かしい昭和の時代の近江町市場を振り返っていただきました。

近江町市場と住吉市場を撮影した写真が、中央市場のイケウチ株式会社からまとまって発見されました。

写っている市場内の店舗状況や、自動車の車種年式からみて、昭和30年代終わりから40年代初頃、さらに絞り込めば、市場の卸売りの機能が西念町の金沢市中央卸売市場に移る、昭和41年7月までに撮影されたものと推測されます。

イケウチ株式会社はこの時代、近江町市場と旧石屋小路にあった住吉市場の2つの市場で塩干物類を扱うお店を商っていました。

近江町市場 今昔

ホテル日航金沢 前田 伸也 副総料理長

近江町市場の魅力は？ここで買い物をする理由。

食材やお料理に対する思いをお聞かせください

僕は子供の頃からレストランを経営して調理師をしていた父親に連れられて、よく近江町市場へ行っていました。活気あふれる市場の雰囲気が好きで、毎日がお祭りみたいで、温かみがあつても楽しかった。近代化された今でもその市場の雰囲気が残されているのがとてもいいと思うし、元気がいただけます。その意味で、いつまでも変わらないで居て欲しいですね。

ホテルの中では、レストランから宴会まで食材にも幅広い対応が求められますが、さまざまな要求にも柔軟に対応していただけるのが近江町市場の強みだと思います。

いろいろな産地や生産者の方へ足を運びますが、我々と生産者と近江町市場とはまさに一体であり、自然を相手に生産し、商売をされて、我々はその素材を料理にさせていたたくという点で同じ立場にある同志だと思っています。我々の何十倍、何百倍もの食材を見て自利きしておられる近江町の皆様からの情報はとても貴重なものです。その情報をいただくことで素材に対する見方も変わりますし、山のようにたくさんのお付きが得られます。また、生産者の皆様のご苦労やブランド化への努力などのさまざまな思いをすべてお皿に乗せてお客様にお届けしたいと思っています。



近江町市場に一言！

ホテル開業以来、24年間、近江町市場とお付き合いさせていただいて大変ありがたいと思います。この間お互いに培ってきた信頼関係をこれからも大切にしたいと思えます。これからもよろしく願いいたします！



2012年ドイツエアフルトで開催された、第23回世界料理オリンピックにて銀メダル、2014年にルクセンブルク料理ワールドカップ2014では金メダルを獲得。2009年10月副総料理長兼洋食料理長へ就任。現在に至る。



ホテル日航金沢
〒920-0853
石川県金沢市本町2-15-1
TEL / 076-234-1111
FAX / 076-234-8802
http://www.hnkanazawa.jp

絵画コンクール

第18回「ぼくの・わたしの好きな食べもの」

去る8月20日に「ぼくの・わたしの好きな食べ物」絵画コンクールの表彰式が行われました。

近江町夏の恒例行事として知られる絵画コンクールは「子供たちの食育と若い親子の来場のきっかけ」と誕生したもので今年で第18回目の開催となりました。

今回は応募総数1,971点の中から見事入賞した94名の方々が会場である消費者会館に来場しました。



その中で最優秀賞を受賞したのは馬場小学校の2年生、高崎えいしん君。高崎君は「昨年は入選だったので今年是最優秀賞を取って嬉しいです。今回の絵はキャンパスに行ったときに思いついたものです。いろいろな色を使ってカラフルに書こうと思いました。いろいろなものがある中で、大好きなお肉をテーマにしました。近江町市場には豆腐、刺身などをお母さんと買いに来ています。掲示されている自分の絵がたくさんの人に見てもらえて嬉しかったです。」と喜びを爆発させていました。

期間中は市場内に様々な絵が飾られ、普段とはひと味ちがう雰囲気となりました。

読んで楽しむ近江町

「近江町の不思議」第3回

「山の原」の由来

前回はもう1本あった辰巳用水について書きましたが、近江町市場の中通りを流れる辰巳用水の分流とは、実はその昔、金沢城を取り囲んでいた「惣構（そうがまえ）」の跡なのです。

惣構とは、城下側に堀と、城側には土を盛り上げた土居とで城を取り囲んだ防御施設のこと、土居には木や竹などが植えられ、金沢城には内と外の二重の惣構が築かれました。

内惣構は、慶長4年（1599）に2代藩主前田利長が高山右近に命じて造らせ、また慶長15年には、3代藩主利常が篠原一孝に命じて外惣構を造らせました。写真は平成21年度に復元整備された、主計町緑水苑の惣構です。惣構をイメージしていただけましたでしょうか。

その西内惣構が近江町の中を走っていたのです。

文政6年（1823）の古地図には、その惣構が描かれています。さて、古くからの

方で、近江町のことを「山の原」と呼んでいることを聞いたことはございませんか。



主計町緑水苑



主計町緑水苑の復元された惣構



文政6年 加陽金城下図(金沢市立玉川図書館所蔵)



田中青果から岡崎商店にかけてのスロ―プ



上通りから中通りに繋がるダイヤモンド精肉部と海道屋の間



下近江町通りから入る青果通り口



ダイヤモンド上通り側入り口の階段

山の原―この不思議な近江町の呼び方は、一体何を表しているのでしょうか？

山の原とは、実は草が茂った惣構の土居が、まるで山の原のようだったことに由来しているのです。

山の原の魚屋という言い方をすれば、それは近江町の魚屋ということになります。現在では、この呼称を用いる人はあまりいなくなりましたが、もしも昔ながらの文化8年（1811）の上近江町の町絵図には、惣構の土居の絵が描かれ、「御惣構土居」と書かれた文字も見えます。

昨年、NHKのテレビ番組「プラタモリ」では、世界の食品ダイヤモンドの上通り側入口の階段を、惣構の堀の跡だと解説していました。

下近江町通りから入る青果通り口、上通りから中通りに



文化8年 上近江町の町絵図(「金沢町絵図」金沢市立玉川図書館所蔵)

つながるダイヤモンド精肉部と海道屋に出る間、田中青果から岡崎商店にかけてのスロ―プも、その痕跡だと推測されます。

今回は山の原の由来について書きましたが、次回は近江町に橋が架かっていたという話を紹介します。

柚木 繁さん

「生い立ちからお聞かせ下さい。お歳はおい
くつになられましたか。」

柚木 昭和8年2月2日生まれだから83
歳、親父が近江町で青果物卸の「青果問屋柚木
三次郎商店」を営んでいて、下近江町24番地、
今の「世界の食品ダイヤモンド」のところで生
まれ育った。

「戦前戦後の近江町市場はどんなでしたか。」

柚木 子供の頃は、近江町市場が遊び場で、
路上でコマをまわしたりして遊んだ。若い人や
男手は戦争に取られて開店休業の状態だった
けど、戦争が終わって徐々に営業を再開する店
が増えていった。うちの隣が青駒さんで、二つ
の店が合体してダイヤモンドの店になった。ま
た、行燈まつりのときはうちの庭に舞台をこ
しらえて浄瑠璃を上演したものだ。

「では、近江町市場が金沢市民の台所と言
われるのは、いつ頃なのでしょう。」

柚木 昭和41年に西念町に金沢市中央卸売
市場ができて、近江町市場は小売りのウエイト
が増したのだが、明確に市民の台所と打ち出し
たのはもう少し後
ではないか。

「近江町市場に
は、昔は名物の方
がおられたでしょ
う。」

柚木 名物と言
えば、牧さんのと
ころのおとつあ



「この人にスイカを売らせたなら右に出るもの
はいなかった。うちの親父の店は、いわゆる泥
物が得意分野で、ユリ根やクワイ、蓮根、筍など
を上手に山にして売っていた。」

「柚木さんは近江町市場商店街振興組合の
理事長を昭和57年5月から14年間、武蔵活性
化協議会の会長も務められて、平成21年には
「近江町いちば館」が完成しました。」

柚木 近江町いちば館はやらなければなら
ないと考えた推進



派の一人で、あれに
は三つの利点があ
った。一つはデッ
ドスペースが生か
されたこと、二つ
は防災の点、三つ
には市場で住まい
をしていた方のス

ペースが活かされたことだった。

「昨年3月の北陸新幹線開業以降の近江町
市場については、どのようにご覧になっていま
すか。」

柚木 近江町市場にたくさんの方が来て賑
わっていることに関しては、これは自然の流
れ。まあ昔からおいでとった地元の人と、旅行
の観光客との間でトラブルがないようにせん
なん。以前に近江町市場のことを「租にして野
だが卑ではない」という言葉に例えたが、三百
年近くも続いている市場なんてそうないぞ。近
江町市場の売り手の皆さんも、市場とは何ぞ
やということをよく考えんなん。

本日は大変ありがとうございました。

今注目の近江町市場 男子女子

おみメン おみジヨ

世界2位。

「今回のおみメンは、近江町市場「串揚げひかり
や」代表取締役の石原トオルさんです。石原さん
は近江町で串揚げ屋さんを営む傍ら、カヌー競
技「フリースタイルカヤック」の選手として日本
選手権優勝7回。日本代表として、世界の表彰
台に立った銀メダリストでもあります。」

「競技を始めたのは20歳のころ。そのきつ
けとは。」

「20年ほど前にCMで放映されていたカヌー
の映像に魅了されて興味をもったのがきっかけ
です。」

「そこから世界へと駆け上がっていったん
ですね。仕事の合間に練習。とはいえ世界レベル
であれば相当なはずですが。」

「寝る間を惜しんで練習時間をつくっていま
す。基本的には午前中。練習の効果が反映され
やすいのと、午後だと疲れが抜けにくいから。」



「効率よく。しかし積み重ねていく大変さ。何
かルーティンやコツでも？」

「その時々で、自分の理想とする動きに近い動
物をイメージします。水の中であればジュゴンや
イルカだったり。筋トレの時はゴリラかな。」

「トップ選手の秘訣。漠然とこなすのではな
くイメージすること。ではズバリこれからの目
標は？」

「2位、3位は経験しているので、体力や年齢
的な面が許されるならば、やはり1位を目指し
たいですね。」

と語りながら、最後に世界の川を知るメダリ
ストからも一言。

「川の遊び方によっては命の危険も多い。競技
を通じて溺れる人を減らしていきたいらなと思っ
ています。」

是非そうやって欲しいです！更なるご活躍を
期待しています。ありがとうございました！

お！のある暮らし
2016秋 03
2016年9月16日発行

次号予告
おみちよの年末年始(仮)
2016年12月発行予定

●企画・発行：
お！のある暮らし 編集部

〒920-0905 金沢市上近江町50番地
TEL: 076-231-1462
Mail: info@ohmicho-ichiba.com

<http://ohmicho-ichiba.com>

いろいろな声 募集します!

お！のある暮らしでは、
取り上げて欲しい特集や企画案から
おみちよに対するご意見や、ご要望、ご質問
などを募集しています。
手紙、はがき、メール、もしくは直接
お話しに来ていただいてもOK!
一緒に近江町を盛り上げて
いきましょ!